

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	9 -	事業名	男女共同参画推進事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	-----	-----	------------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	6	男女がともに尊重し、協力し合うまちをつくる			
		施策の進め方					
	まちづくり行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～			
		政策分類	25	男女共同参画プランに基づく女性の社会進出の促進			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 男女がともに尊重し合いつつ責任も分かち合い、社会の対等な構成員としてあらゆる分野に参画し、その個性と能力を十分に発揮できるような「男女共同参画社会」の形成を推進することを目的とした以下の事業を実施する。 ・男女共同参画審議会事務事業 ・講座及び講演会 ・啓発事業(標語・川柳募集等) ・男女共同参画推進部会				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 男女が家庭、学校、職場、地域活動等の場に対等な立場で参画し、ともに責任を担い、各人の個性や能力をのびやかに発揮できるようにする。				
	事業を構成する事務事業	① 男女共同参画推進事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							382
人件費(B)		千円	決算				6,110
総コスト(A)+(B)		千円	決算				6,492

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 男女共同参画講座等参加者数	人	目標	-	-	-	180	
			実績	-	-	-	166	
	B 標語・川柳応募作品数	点	目標	-	-	100	360	
			実績	-	88	323	244	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 男女共同参画の理念を伝えることを目的とし、講座等の予定参加者数を指標とした。								
B 男女共同参画の理念を伝えることを目的とし、応募作品数の予定数を指標とした。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 女性が職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、平成27年9月に女性活躍推進法が策定された。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) A: 出前講座2回、講演会1回、定期講座2回、職員部会3回の開催により、166人が参加した。目標に達しなかったが、アンケートによるとこの事業の価値を認識したとの意見が多かったため、一定の成果はあったと考える。B: 事業のPRが十分でなく目標に達しなかったと考えられる。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 男女共同参画は、市民に理解されにくい抽象的な理念であるため、より分かりやすく伝えるための事業を実施する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 男女共同参画の理念を分かりやすく伝えるための講演会、講座及び啓発事業を実施する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	男女共同参画推進事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	男女共同参画推進事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民に対し、男女共同参画の理念を伝えるため、講座開催、講演会開催、啓発事業として標語・川柳を募集し表彰する事業等を実施。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 男女が共にその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、社会の対等な構成員としてあらゆる分野に共に参画し、その個性と能力を十分に発揮できるような社会の実現を目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				469
		決算				382

3. 活動推移

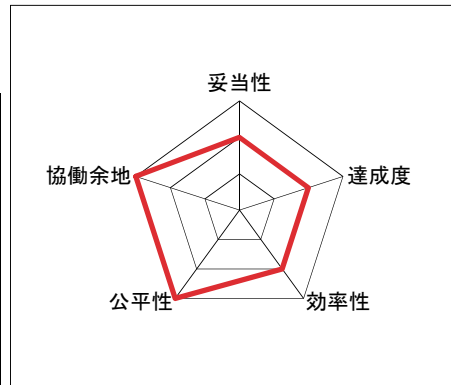
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
男女共同参画講座等参加者数	人	目標	-	-	-	180	
		実績	-	-	-	166	
標語・川柳応募作品数	点	目標	-	-	100	360	
		実績	-	88	323	244	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 女性が職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、平成27年9月に女性活躍推進法が策定された。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 講座、講演会、啓発事業等を継続的に実施していく。応募が増加するようなPRの方法を検討する必要がある。
--